

インターネット接続ガイド

必要な環境は整っていますか？

- インターネット接続環境**
LAPLINK で接続を始める前に、ゲストとホストの両方でインターネットに接続できることを確認してください。
- グローバル IP アドレス (リモート操作をする側)**
プロバイダーとの契約内容をご確認ください。

LAPLINK 14 ゲストとホストについて



ゲスト

…リモート操作をする側

ホスト

…リモート操作をされる側

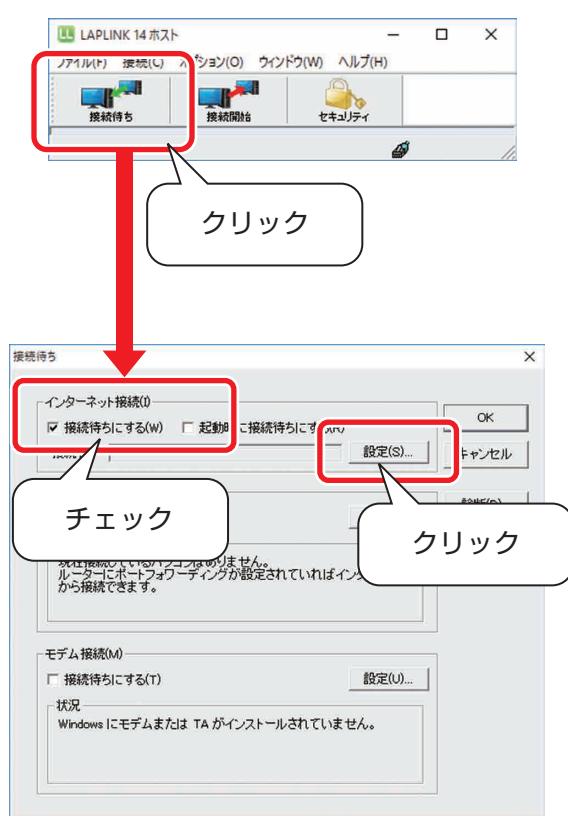
相手のパソコンを訪問する
という意味で **ゲスト**、
相手をパソコンへ招待する
という意味で **ホスト**
といいます。

ステップにしたがって接続してください。

ホスト (リモート操作をされる側)

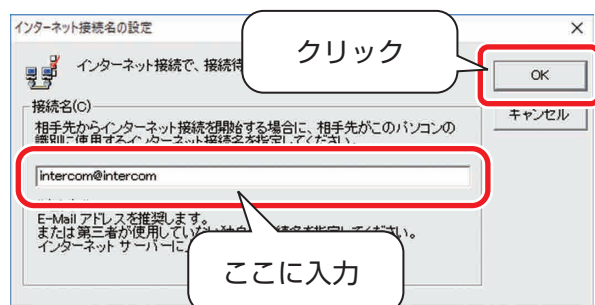
1 接続待ちを開始します。


[接続待ち] アイコンをクリックします。
[接続待ち] ダイアログで、[インターネット接続] の [接続待ちにする] にチェックを付け、[設定] ボタンをクリックします。

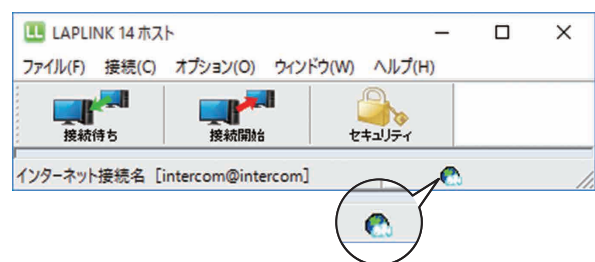


2 接続名を登録します。

[インターネット接続名の設定] ダイアログでメールアドレスなどの固有の接続名を入力して、[OK] ボタンをクリックします。



[接続待ち] ダイアログの [OK] ボタンをクリックすると接続待ちの状態となり、LAPLINK の画面右下に  アイコンが表示されます。

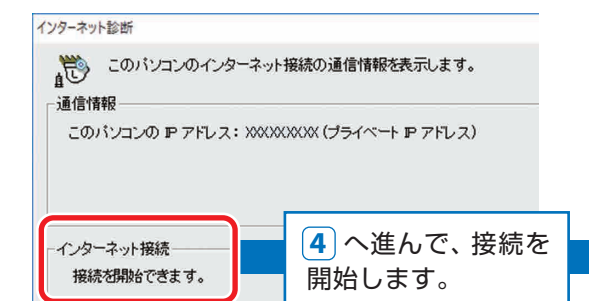


ゲスト (リモート操作をする側)

3 インターネット診断で環境を確認します。

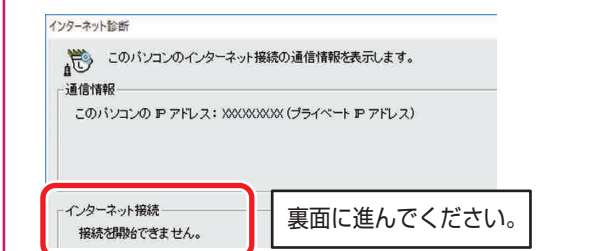
LAPLINK ゲストの [ヘルプ] メニューから [インターネット診断] をクリックして、メッセージの内容を確認します。

「接続を開始できます。」
接続を開始できる状態です。



「接続を開始できません。」
ルーターを使用している環境の場合、次の可能性があります。

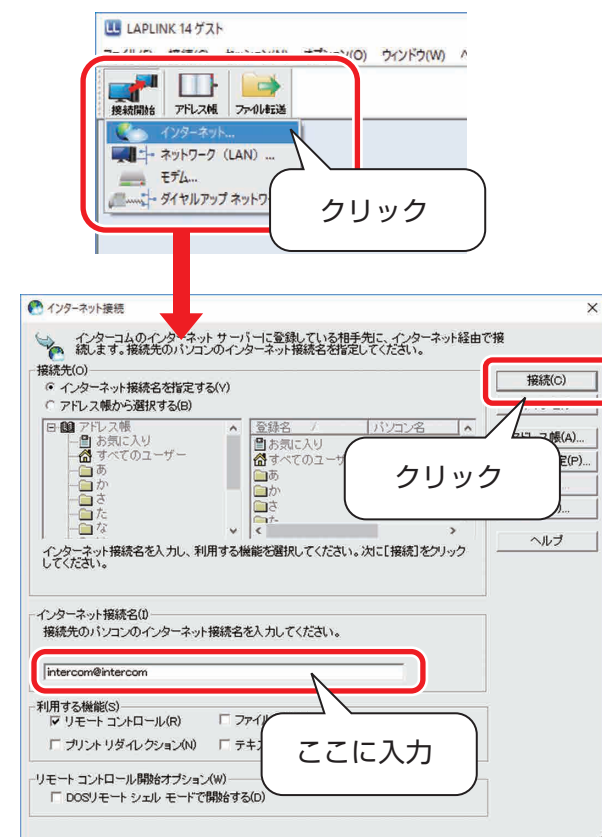
- ・ポートが開放されていない
- ・グローバル IP アドレスを使用できない



裏面へ

4 接続を開始します。

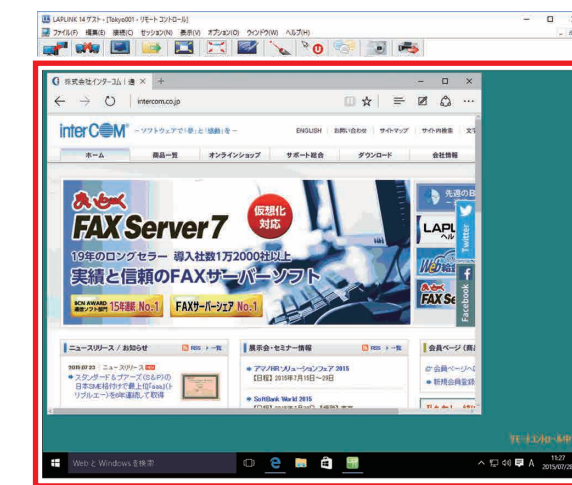
[接続開始] アイコンから、[インターネット] をクリックします。
[インターネット接続] のダイアログで 2 で設定した「インターネット接続名」を入力して、[接続] ボタンをクリックします。



5 リモートコントロールを開始します。

接続に成功するとホストパソコンの画面が表示されて、リモートコントロールができます。

ゲスト



ホスト



① ゲストパソコンのインターネット診断で「接続を開始できません。」と表示されたら…

1 ポートが開放されているか確認しましょう。

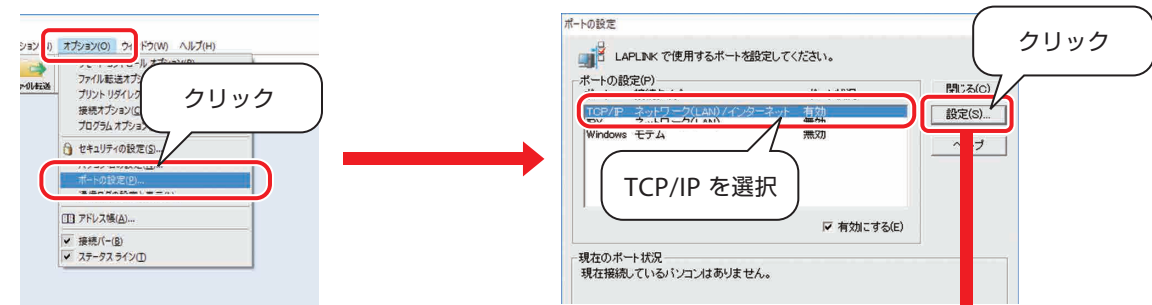
LAPLINKで使用する1547番のポート（外部から内部）が、ルーターのフィルター機能やファイアウォールなどによってふさがっていないか、ゲストパソコンの設定を確認してください。

2 グローバルIPアドレスを使用できるように設定しましょう。

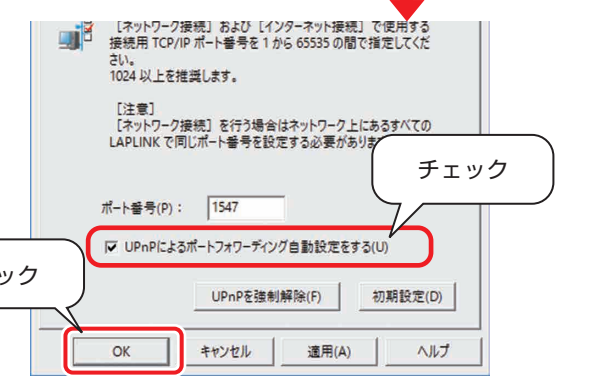
ルーターを使用している場合、プロバイダーから割り当てられるグローバルIPアドレスを、接続に使用できない状態になっていることがあります。その場合は、**ポートフォワーディングを設定する**必要があります。

自動ポートフォワーディングの設定方法 **ゲスト** (リモート操作をする側)

- 1 【オプション】メニューから【ポートの設定】をクリックします。
【ポートの設定】ダイアログの【TCP/IP】を選択して、【設定】ボタンをクリックします。



- 2 【通信設定】ダイアログで、【UPnPによるポートフォワーディングを自動設定する】にチェックを付け、【OK】ボタンをクリックします。

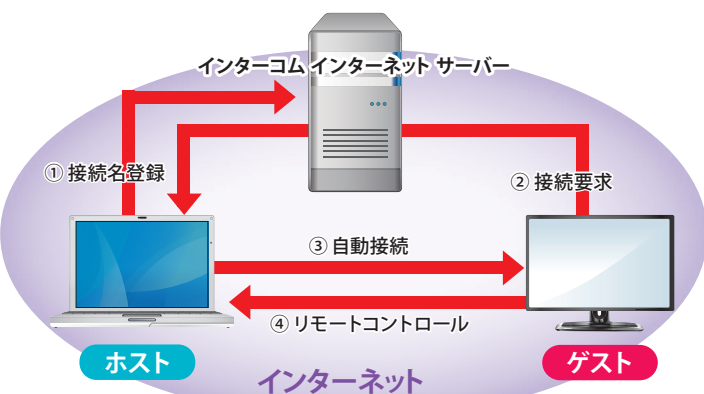


- 3 【ヘルプ】メニューの【インターネット診断】を再度実行し、結果を確認します。まだ「接続を開始できません。」と表示されている場合は、手動でルーターの設定を変更する必要があります。

「ルーターの設定方法」へ

なぜリモート操作をする側のゲストパソコンで、ポートの開放やグローバルIPアドレスが必要なの？

リモート操作をされる側のホストパソコンで特別な設定を必要としないように、以下の仕組みで通信しているためです。



インターネット接続の仕組み

- 1 ホストがサーバーにインターネット接続名を登録し、接続を待機します。
- 2 ゲストが接続を開始しようとするときに、サーバーにグローバルIPアドレスを通知します（グローバルIPアドレスが必要）。
- 3 ホストは通知されたグローバルIPアドレスを使って、ゲストに自動接続し、通信が開始されます（ポートの開放が必要）。

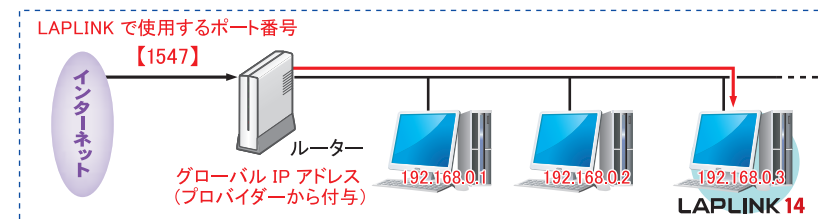
ルーターの設定方法 (ポートフォワーディング手動設定例)

ポートフォワーディングを手動で設定する場合の設定例です。

「ポートフォワーディング」は、各メーカー、機種により呼び方が異なります（静的IPマスカレード、仮想サーバー、バーチャルサーバー、ローカルサーバー、アドレス変換テーブル設定、ポートマッピング設定、NAPT設定など）。

「ポートフォワーディング」とは？

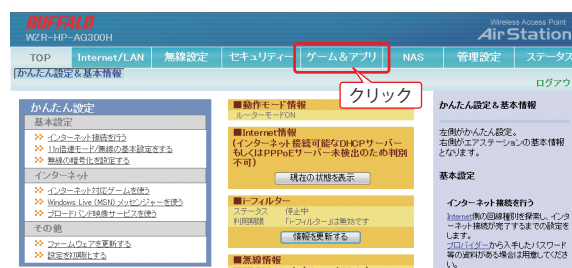
インターネット側から特定のポート番号にデータが送られたときに、ルーターがそのデータをLAN内の特定のパソコンに常に応答する機能です。



バッファロー WZR-HP-AG300H の場合

ポート変換

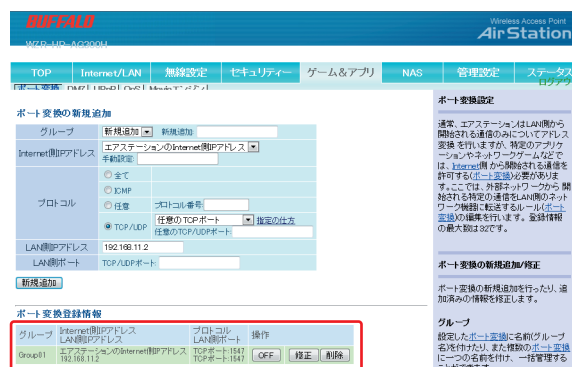
- 1 Web ブラウザーを起動して、URL 入力欄にルーターのプライベート IP アドレス（初期値は 192.168.11.1）を入力します。
- 2 ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。ユーザー名（初期値は「root」）とパスワード（初期値は空）を入力し、【OK】ボタンをクリックします。
- 3 【TOP】ページの【ゲーム&アプリ】ボタンをクリックします。



- 4 【ポート変換の新規追加】が表示されます。[任意の TCP/UDP ポート] に「1547」を入力し、【新規追加】ボタンをクリックします。



- 5 設定内容を確認します。



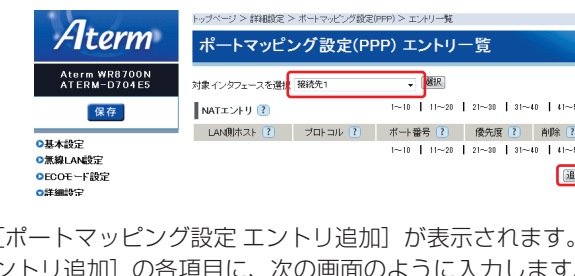
NEC Aterm WR8700N の場合

ポートマッピング設定

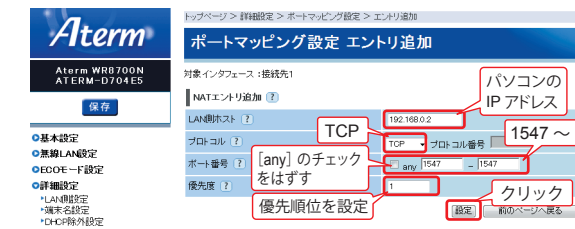
- 1 Web ブラウザーを起動して、URL 入力欄に「http://web.setup/」またはルーターの IP アドレス（工場出荷時は 192.168.0.1）を入力します。
- 2 ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。ユーザー名（初期値は「admin」）とパスワードを入力して、【OK】ボタンをクリックします。
- 3 【クイック設定 Web】が表示されます。左のフレームから【詳細設定】をクリックし、【ポートマッピング設定】をクリックします。



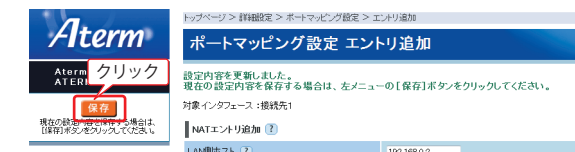
- 4 【ポートマッピング設定 (PPP) エントリー一覧】が表示されます。[対象インタフェースを選択] で、接続先を確認して、【追加】ボタンをクリックします。



- 5 【ポートマッピング設定 エントリー追加】が表示されます。[NAT エントリー追加] の各項目に、次の画面のように入力します。入力後、【設定】ボタンをクリックします。



- 6 設定が更新されたら、左のフレームの【保存】ボタンをクリックします。



- 7 左のフレームの【詳細設定】から【ポートマッピング設定】を再度クリックし、[NAT エントリー] に設定が反映されていることを確認し、終了します。

